

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所 たねのね		
○保護者評価実施期間	2025年2月3日		～ 2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年1月14日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2025年2月3日		～ 2025年2月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	関係機関と信頼関係を築き、連携した取り組みにつながるよう、丁寧にお話を聞いたり、提案するための時間をじっくりと取るように努めています。	訪問日には別に、関係機関先のお話を聞く時間、提案する時間を設定しています。ゆっくりとお話することで、信頼関係を築きながら、関係機関先が、無理なく継続して取り組むことができる方法の提案につなげています。	こんな方法があったのかやぜひ取り入れてみたいと思っただけのような提案を増やしていけるよう支援員の質の向上に努めています。丁寧な聞き取りと深い洞察がにつながるよう研修や勉強会への参加に取り組んでいます。
2	発達障害のあるお子さまの今の状態はどのようなものなのか、どのように関わることで「わかる」につながるのか等、できる限りわかりやすく提案を行っています。	どのような関わりを継続することで、本人も楽に、楽しく生活できるようになるのか、わかりやすい具体例を挙げながら、障がい理解を深めていただくことに努めています。	支援員の質の向上に努めています。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お子さま一人一人に合った、また各関係機関の状況に合った提案を行うための、教材や教具が不足していると感じています。	保育所等訪問支援を始めて間もないということもあり、手探りの状態で取り組んでいます。経験豊富な機関からスーパーバイズを受けながら、質の向上に取り組んでいるところです。	保護者の皆様や、関係機関からの聞き取りを丁寧に行い、必要な教材教具は何か検討し、予算や時間の予定を組んで今後増充実させていきます。
2	自事業所に通所されていないお子さまに対して、月に1～2回の訪問の中で、問題点や改善すべき点を的確に観察して提案していく事に対して、さらなる質の向上が求められます。	短時間の訪問の中で、的確に問題点をとらえ、それに合った提案の方法を提示していく事に難しさを感じます。保護者の方々と関係機関と連携していく事で、少しずつ解決の方法や提案の方法を提示していく事ができるように努めていく必要があります。	前述したとおり、訪問の回数を重ねながら、より良い提案ができるよう、質の向上に努めています。
3			